

令和2年12月1日
安全・核セキュリティ統括部
大洗研究所 環境技術開発センター

大洗廃棄物管理施設の許認可審査の強化

大洗廃棄物管理施設を所掌する大洗研究所 環境技術開発センター 環境保全部及び安全・核セキュリティ統括部においては、許認可審査を進めるため、以下の強化を行っている。今後も審査が円滑に進むよう、更なる改善を図っていく。

1. 体制の補強

- 許認可業務のとりまとめ部署のマネージャー（課長代理級）に、材料試験炉部原子炉課でJMTRの原子炉施設及び核燃料に係る許認可業務を担当してきたマネージャーを12月1日付で配置した。
- JMTRの許認可業務の経験を有する材料試験炉部原子炉課の元課長、及び材料試験炉部技術課の課員を廃棄物管理施設の設工認対応のため、12月1日付で兼務させた。

| 体制（補強前） | 体制（補強後） |
|----------------|-----------------------------|
| 課長 | 課長 |
| マネージャー（他課との兼務） | マネージャー （JMTRから許認可経験者を異動） |
| 技術系課員2名 | 技術系課員2名 |
| 常勤嘱託1名 | 常勤嘱託1名 |
| 兼務9名 | 兼務9名 + JMTRから2名（設工認対応） |

2. ヒアリング等におけるコメント回答の強化

- ヒアリング等における原子力規制庁殿のコメントを的確にとらえるため、コメントの趣旨や回答の方向性等をその場で確認すること、それらを記録することを徹底している。
- ヒアリング等において口頭で回答した内容を記録し、次回ヒアリング等で用いる資料に反映することを徹底している。

3. 勉強会の実施

- 許認可対応を主な業務とする若手職員を中心とした勉強会を計11回開催し、能力向上を図っている。
- 講師には、旧文科省・原子力規制室長などを歴任された者を外部から招き、ゼミ形式で1回あたり2時間程度の事例教育等を実施した。

4. 本部組織との連携

- ヒアリング等においては、これまでも安全・核セキュリティ統括部の担当者が同席しているが、今後は重要なコメントがあった場合など、必要に応じて回答資料の確認や情報共有会議を実施する。

5. 情報の共有

- 許認可申請手続きに係る機構全体の横串機能を強化するため、令和2年2月に「安全審査対応連絡会」を設置し、ヒアリング等におけるコメントを共有して、必要に応じてそれぞれの許認可申請書類に反映している。
- 各施設の許認可審査にかかるヒアリングメモを共有し、同様のコメントを受けないようにしている。

以上